

平成25年度 病虫害発生予察情報
注意報 第4号

平成25年7月31日
発表：福島県病虫害防除所

**地域によりいもち病の発生拡大が懸念されますので、
適切な防除に努めましょう。**

- 1 対象作物：水稲
- 2 病虫害：いもち病（穂いもち）
- 3 対象地域：県内全域
- 4 発生量：やや多い

根 拠

- (1) 7月4半旬以降、気温があまり上がらず、降水量が多く日照時間の少ない状態が続いている。東北地方の1か月予報(7月26日仙台管区气象台発表)では、今後も期間のはじめは平年に比べ、曇りや雨の日が多いと予想されている。
- (2) BLASTAM（アメダスデータを用いた葉いもち発生予測プログラム）によると、7月に入ってから周期的に感染好適条件が出現しており、7月5半旬以降に感染好適条件の出現頻度が高くなっている（表1）。
- (3) 7月3～4半旬の調査では葉いもちの発生は少なかったが、発生の目立った地点（県中地方）において、7月4半旬以降葉いもちの発生程度が、急激に高まっている例が見られ、一部ズリコミ症状も確認されている（図1）。

以上のことから、特に下記に該当するほ場では、穂いもちの発生が懸念される。

- ① 上位葉に病斑が見られるほ場
- ② 中山間地のいもち病常発地帯
- ③ 葉色が極端に濃いほ場
- ④ 低温が予想される時期（7月下旬～8月上旬）に出穂見込みのほ場（早生品種等）
- ⑤ 育苗箱施用剤を施用していないほ場

防除対策

- (1) 葉いもちの発生が確認されたほ場では、薬剤散布を実施して葉いもちの拡大を防ぐ（表2）。
- (2) 育苗箱施用剤や水面施用剤を施用したほ場でも、葉いもちの発生が確認された場合には追加防除を行う。
- (3) 現在、葉いもちの発生が確認されていない地域でも、早期発見・早期防除に努め、発生の拡大を防ぐ。
- (4) 窒素の追肥はいもち病の発生を助長するので、発生ほ場では薬剤散布をあわせて行うなど注意して実施する。
- (5) 出穂期は、中通り及び浜通りでは平年並と予想され、会津では平年より4日程度早まっているので、防除時期を逃さないよう注意する。
- (6) 穂いもちを対象に水面施用剤を施用する場合は、各薬剤の施用適期に湛水して散布し、その後7日間以上止水する（表3）。

表1 B L A S T A Mによる感染好適条件の出現状況

アメダス 地点 月日	中通り										会津						浜通り									
	茂庭	梁川	福島	二本松	船引	郡山	湯本	小野	石川	白河	東白川	喜多方	西会津	猪苗代	若松	金山	只見	南郷	田島	相馬	飯館	浪江	川内	広野	山田	小名浜
6月	13日	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	○	○	○	○	○
	14日	-	-	-	-	-	-	△	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	○	○	○	○	○
	15日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16日	●	●	●	●	●	-	●	-	●	-	●	●	△	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-
	17日	-	-	-	-	-	-	※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19日	-	-	-	-	-	-	●	△	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	●	●	●	△	-
	20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	●	●	-	-	-	-	-	-	-
	21日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
	22日	-	-	●	-	-	-	△	-	-	△	-	-	-	-	△	-	△	△	-	-	△	-	-	-	-
	23日	-	-	-	-	-	-	-	-	○	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	△	△
	24日	-	-	-	-	-	-	-	-	○	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※	-	-	-
26日	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
27日	●	△	●	-	-	-	△	△	-	-	●	●	-	-	△	-	-	-	●	-	-	△	-	※	-	
28日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	○	-	△	-	-	
29日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
30日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7月	1日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4日	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-
	5日	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6日	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7日	-	-	●	●	●	-	○	-	-	-	●	●	●	-	-	-	-	●	-	-	●	●	-	-	-
	8日	-	-	-	-	●	-	-	●	●	●	-	●	●	-	●	●	-	●	-	●	●	-	-	●	●
	9日	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10日	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	●	●	-	※	-	-	-	-	-
	12日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13日	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	●	-	-	-	-	-	●	-	●	●	-
	14日	-	○	-	-	-	○	●	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	●	○	●	○	●	●	-	-
	15日	●	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	●	-	●	●	●	-	●	-	-	-	-	-	●
	16日	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19日	●	-	-	-	●	-	○	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	
20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	
21日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※	-	-	-	
22日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
24日	●	-	-	-	●	-	○	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	※	△	-	-	
25日	●	△	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	※	○	●	●	
26日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	●	●	
27日	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
28日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	
29日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	-	-	
30日	-	-	-	-	●	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	
31日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

●：感染好適条件、○：準感染好適条件、△：感染可能条件、-：感染好適条件を満たしていない、※：判定不能

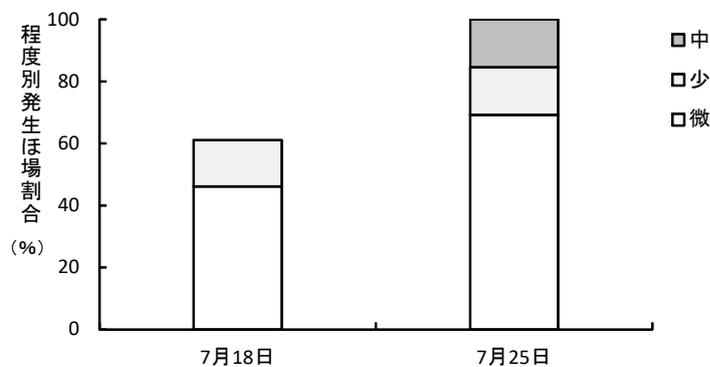


図1 発生の目立った地点（県中地方）における葉いもちの推移

表2 葉いもち及び穂いもちの防除薬剤（茎葉散布剤）

剤型	薬剤名	使用時期 (収穫前日数)	使用方法	使用濃度、10a当たり 使用量（散布液量）	本剤使用回数の 制限
茎葉散布剤 (粉剤)	カスミン粉剤DL	穂揃期まで	散布	3～4kg	2回以内
	カスラブサイド粉剤DL	穂揃期まで		3～4kg	2回以内
	キタジンP粉剤30DL	葉いもちに対しては 初発7日前～初発時、 穂いもちに対しては 出穂20～7日前まで		3～4kg	3回以内
	ノンプラス粉剤DL	収穫7日前まで		3～4kg	2回以内
	ビーム粉剤DL	収穫7日前まで		3～4kg	3回以内
	ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで		3～4kg	2回以内
	ラブサイド粉剤DL	収穫7日前まで		3～4kg	3回以内
茎葉散布剤 (液剤、水 和剤、乳 剤、フロア ブル剤)	アミスターエイト	収穫14日前まで	散布	1,000～1,500倍 (散布液量100～200L/10a)	3回以内
	カスミン液剤	穂揃期まで		1,000倍	2回以内
	カスラブサイド水和剤	穂揃期まで		1,000倍	2回以内
	ノンプラスフロアブル	収穫7日前まで		1,000倍	2回以内
	ビームゾル	収穫7日前まで		1,000倍	3回以内
	フジワン乳剤	収穫14日前まで		1,000倍	2回以内
	ブラシンフロアブル	収穫7日前まで		1,000倍(散布液量60～150L/ 10a)	2回以内
	ブラシン水和剤	収穫7日前まで		1,000倍(散布液量60～150L/ 10a)	2回以内
ラブサイドフロアブル	収穫7日前まで	1,000～1,500倍 (散布液量60～150L/10a)	3回以内		

注) 薬剤は平成25年版福島県農作物病害虫防除指針による。平成25年7月29日現在の農薬登録内容。
使用回数の欄は本剤の使用回数であり、使用する際は成分ごとの総使用回数を確認すること。

表3 穂いもち対象の水面施用剤の施用適期

薬剤名	使用適期	使用方法	10a当たり 使用量	使用回数 の制限
フジワン粒剤	出穂30～10日前	湛水散布	3～5kg	2回以内
イモチミン粒剤	出穂28～7日前	散布	3kg	1回
嵐粒剤	出穂25～5日前	湛水散布	2～3kg	1回
イモチエース粒剤	出穂20～10日前	散布	3kg	1回
イモチエース1キロ粒剤10	出穂20～10日前	散布	1～1.2kg	1回
コラトップ粒剤5	出穂15～10日前	散布	3～4kg	2回以内
コラトップ1キロ粒剤12	出穂15～10日前	散布	1～1.5kg	2回以内
コラトップジャンボ	出穂15～10日前	水田に小包装 (パック)のまま ま投げ入れる	小包装(パック) 10～13個 (500～650g)	2回以内
キタジンP粒剤	出穂10日前	散布	3～5kg	2回以内

注) 薬剤は平成25年版福島県農作物病害虫防除指針による。平成25年7月29日現在の農薬登録内容。
使用回数の欄は本剤の使用回数であり、使用する際は成分ごとの総使用回数を確認すること。

- 情報内容への質問や要望は福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）までご連絡ください（TEL 024-958-1709、FAX 024-958-1727）。
- 本情報は、福島県病害虫防除所ホームページ（<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）でもご覧になれます。